

第二回 バイオストレス研究会 開催

2018年8月18日（土）関西医科大学医学部棟講義室において、第二回バイオストレス研究会を開催しました。[バイオストレス研究会]は当NPO理事長らが京都大学ウイルス研究所時代から行なってきた「バイオストレスを考える会」を若い世代に引き継いだもの。当NPOがその母体ではありますが、昨年（2017年）共催という形で事務局を天理医療大学に置き発足し、「第一回バイオストレス研究会」を開催しました。そして、二回目の今回も「バイオストレス」に関わる先端的な研究を行なっている研究者の方々をお招きし、講演していただきました。

会の冒頭、今年7月に急逝された、「バイオストレス」の生みの親である石坂公成先生をはじめ、これまで関わり、先に逝かれた先生方に追悼を捧げ、レドックス・バイオストレス医学の歩みをご紹介します。当日は「バイオストレスを考える会」を故石坂公成先生と一緒にご指導頂いた高月清先生も、天理での第一回同様 枚方・関西医科大学での第二回研究会にご出席。懇親会の乾杯のご挨拶をお願いしました。

ご協賛、ご支援くださいました、多くの企業・個人の皆様に心より御礼申し上げます。



【プログラム】

開会挨拶	淀井 淳司 (バイオストレス研究会代表世話人/JBPA 理事長)
「修復過程におけるレドックス依存的細胞周期停止に注目した AKI-to-CKD transition を推定する技術と治療法の開発」	糟野 健司 (福井大学 腎臓内科 准教授)
「消化器疾患と小胞体ストレス」	西尾 彰功 (関西医科大学 内科学第3 講座 准教授)
「酸化ストレスとチオレドキシシン」 —天理医療大学での研究結果報告—	稲本 俊 (JBPA 常任理事)
「紹興大学及び研究の紹介」	田 海 (紹興大学 医学部)
「網膜とチオレドキシシン」	大平 明弘 (島根大学 名誉教授)
閉会挨拶 (第三回バイオストレス研究会について)	山内 清明 (JBPA 理事)